

東部水産漁港部だより

魚の“旬”をお知らせします！

魚市場 編



宮城県東部地方振興事務所水産漁港部 (令和元年8月5日発行)
「みやぎ水産の日」PR広報紙 vol.2

7月は石巻魚市場の取材と石巻市立桜坂高校の『さくらプロジェクト』体験学習の様をお伝えします。取材日は、小型底曳き網船と定置網船4件、養殖ギンザケ6件の水揚げがありました。養殖ギンザケは最盛期を迎え、先月後半から3.5kg前後のものも水揚げされるようになりました。取引価格も安定しているので好漁を期待しています。

石巻魚市場編

活魚 & 陸送物

今が旬の「マアナゴ」約1ト、「マボヤ」200kg、「ヤマトシジミ」170kgが入荷しました。「みやぎ水産の日」7月～8月のテーマ食材は『アナゴ』です。栄養満点で低カロリー。夏バテ対策にぴったりの食材です。



マボヤのせり



7月～8月「みやぎ水産の日」テーマ食材

マアナゴ



ヤマトシジミ



オオクチイシナギ



ホシガレイ



シヤコ



ケガニ



アイナメ(ネウ)

養殖ギンザケ

養殖ギンザケの水揚げは67トでした。3.5kgは567円～585円、3kgは585円～610円、2.5kgは607円～623円、2kgは616円～620円、1.5kgは589円～593円、1kgは550円～560円で取引されました。



海水氷で鮮度が保たれます



養殖場別ギンザケ見本出し

近海底曳き&定置

当日は「マイワシ」207ト、「マサバ」7ト、「マアジ」7トの他、「ヒラメ」、「ミスダコ」、「マトウダイ」などの水揚げがありました。

「マイワシ」は不飽和脂肪酸(EPAやDHA)やビタミン類・カルシウムが豊富で非常に栄養価が高い魚です。



マトウダイ



マアジ



オオメナツビ(トビウオ)



ミスダコ



マサバ



ヒラメ



アカガレイ



マイワシ

さくらプロジェクト

令和元年7月9日から10日にかけて、石巻市立桜坂高校2年生の生徒4名が、職業体験学習のために東部地方振興事務所を訪れました。石巻市立桜坂高校は、職業理解のための学習や体験学習等を通して、職業人としての心構えを学習する「さくらプロジェクト」を毎年実施しています。

プロジェクトは2日間にわたり、事務所各部署の業務分野に関する職場体験を行いました。この中で、水産漁港部では石巻魚市場株式会社様と株式会社ヤマトミ様のご協力を得て、職業理解の学習機会を提供しました。

石巻魚市場株式会社様では、定置網の水揚げや魚種仕分け機で働く職員の仕事を学び、志摩専務より魚市場の設備や、石巻で水揚げされる魚種や漁業種類の話聞き理解を深めたようです。

株式会社ヤマトミ様では、千葉社長から石巻地区の水産講話を通じ、水産加工業の仕事について学び、ヤマトミ様製品の試食では、地元の味を確かめることができました。

今回の学習を通じて、地域の基幹産業について今まで以上に興味を持ち、学んでもらえたようです。

当日の様子



ギンザケの大きさにみんなびっくり!!



水揚げ担当職員の機敏な動きを観察



放射能検査室を見学
なぜ必要か学びました



志摩専務のお話
みんなサーモン大好き



千葉社長の講話 社員の方の
体験談も聞けました



試食会
穴子が一番人気

～今月の女川魚市場の状況について～

女川魚市場 木村部長より

養殖ギンザケはそろそろ終了だが、春先の成長の遅れから今年は数量的には若干厳しいが、金額ではシーズンを通して安定価格だったので悪くはないと思う。

7月に入り「マアジ」も多く水揚げされ、夏漁本番を迎え活気にあふれている。

令和元年度 宮城県漁業士会中部支部通常総会が開催されました

令和元年7月19日、石巻市の飛翔閣において、宮城県漁業士会中部支部通常総会が開催されました。

総会終了後の研修会では、平成30年9月に「首都圏での本県水産物の販売動向」をテーマに実施した新技術習得交流事業(先進地視察研修)についての報告があり、事業に参加した西條幸正指導漁業士からは、「東京で物売る意味や難しさを改めて理解することができた研修でした。」との報告がありました。



また、豊嶋恵美子指導漁業士から、平成30年8月に開催・参加した「東日本女性漁業士交流会」についての報告がありました。

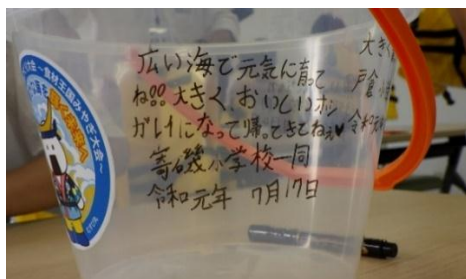
交流会では、宮城県の酒井敬一氏から「宮城の海並びに水産業について」と題する講演と料理講習会を実施し、宮城の旬な水産物を使った世界各国の料理を教えてくださいました。豊嶋指導漁業士からは、「参加した皆さんから喜んで頂き、他県の女性漁業士との交流を深めることができました。」との報告がありました。

令和元年度全国豊かな海づくり大会記念リレー放流が開催されました

令和元年7月17日、石巻市寄磯浜において、令和元年度全国豊かな海づくり大会記念リレー放流が行われました。

これは、来年度石巻で開催される「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」の一環で行われた企画で、JFみやぎ寄磯前網支所の青年部が中間育成を行ったホシガレイの稚魚を、寄磯小学校の児童に放流してもらいました。むすび丸からバケツを受け取った児童たちは非常に喜んでいました。

また、寄磯小学校の児童は、来年度の豊かな海づくり大会で実際に使われる放流バケツに「元気に育って大きくなってね」とメッセージを記しました。



編集後記

改めて幅広い世代の方が漁業に関わりを持っていることが感じられた1ヶ月間でした。今の子供たちの世代においしい魚を食べてもらえるよう、また、彼らの世代が大人になり、漁業者になった後も安心して活動できるよう、しっかりサポートしなければならないと感じました。(K. T.)